

令和4年版環境白書を作成しました

「群馬県環境基本条例」に基づき、知事は毎年、議会に、環境の状況及び県が良好な環境の保全及び創造に関して講じた施策に関する報告を提出することとされています。

環境白書は、この報告として作成しています。1972（昭和47）年度、当時の「群馬県公害防止条例」に基づき第1号を発刊して以来、令和4年版が第51号です。

1 令和4年版環境白書の概要

(1) 「第1部 環境トピックス」

環境トピックスとして、「国内外における環境を巡る状況」、「特集記事1 グリーンイノベーションの推進について」、「特集記事2 循環型社会づくりの推進について」を掲載しています。

(2) 「第2部 ぐんまの環境」

2021（令和3）年度に取り組んだ施策、群馬県の環境の現状に関する各種データを掲載しています。主な項目は、次のとおりです（経年変化については別添「参考資料」参照）。

※「傾向」欄の緑は改善又は良好状態の継続を示します。

項目（指標）	傾向	特記事項
温暖化（温室効果ガス排出量）	減少	2019年度 基準年度（2007年度）比 ▲14.3% （目標 2020年度▲14% （排出削減8%、森林吸収分6%））
水環境（環境基準達成率）	河川：横ばい 湖沼：増加	河川の汚濁負荷量の6割以上を占める 生活排水対策が重要
地盤沈下（年間20mm以上地盤沈下）	横ばい	該当地域は過去25年間なし
大気環境（環境基準達成率）	横ばい	PM2.5の環境基準を6年連続達成 SPMの環境基準を12年連続達成
騒音（騒音環境基準達成率）	横ばい	長期的に改善傾向
公害防止対策（公害苦情件数等）	減少	長期的に減少傾向
廃棄物（1人1日当たりごみ排出量）	横ばい	2020年度ごみ排出量990g/人・日 （全国平均901g/人・日）

生態系（野生鳥獣）	捕獲頭数：減少 被害額：横ばい	2021年度捕獲頭数 シカ過去最多（前年度比109%） イノシシ2年連続減（同49%）
森林環境（間伐等森林整備面積）	増加	間伐等を促進したことにより増加傾向 未利用間伐材のバイオマス発電等への活用が増加
環境学習（環境学習等参加人数）	減少	感染防止対策の影響により減少傾向

- (3) 「第3部 2022（令和4）年度に講じようとする施策」
2022（令和4）年度に講じる環境行政に係る施策の概要を掲載しました。
- (4) 「第4部 計画の進行管理」
「群馬県環境基本計画 2021－2030」の取組状況調査結果を掲載しました。

2 作成部数及び配付先等

- (1) 作成部数 1,300部（A4版、242ページ）
- (2) 配付先等 県議会、市町村、学校（中学校、高校、大学）、図書館等に無償配付します。
県民センター・各行政県税事務所で有償頒布（1,755円）します。

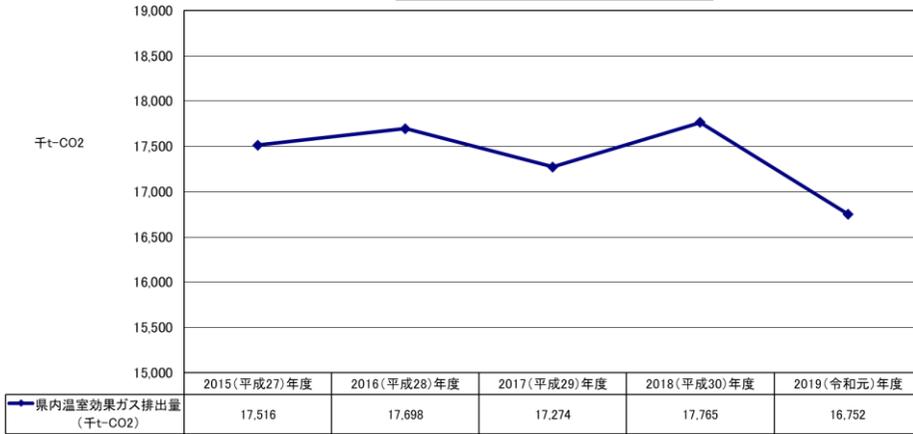
3 県ホームページへの掲載

環境に関する情報を、県民の皆さんに幅広く提供し、有効に活用していただくため、全内容を県ホームページに掲載します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



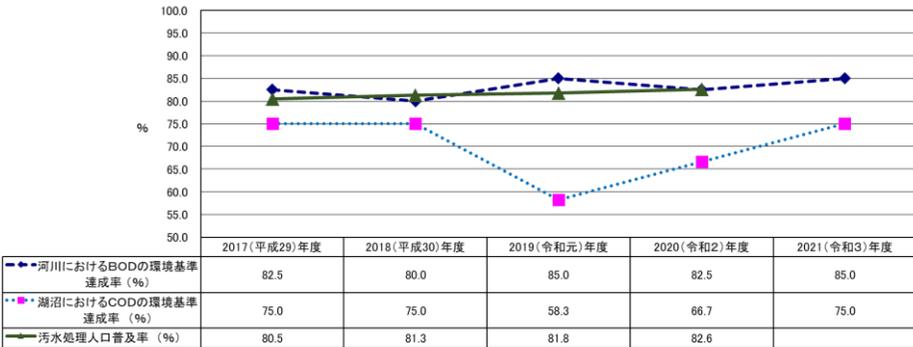
県内温室効果ガス排出量の経年変化



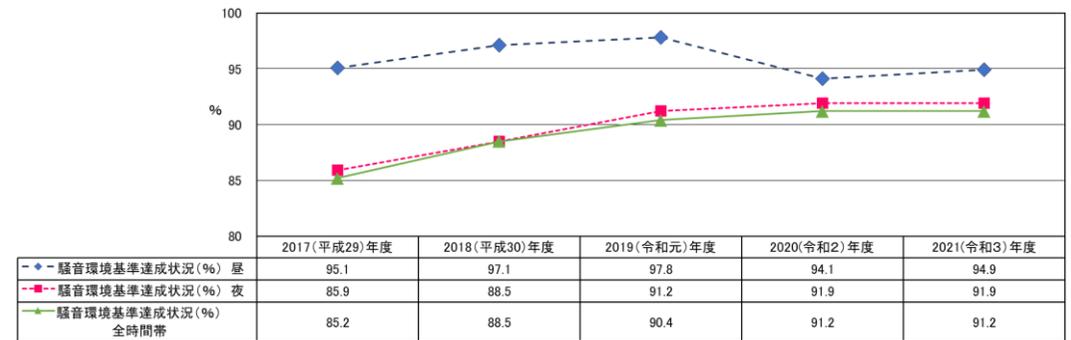
光化学オキシダント注意報発令日数の経年変化



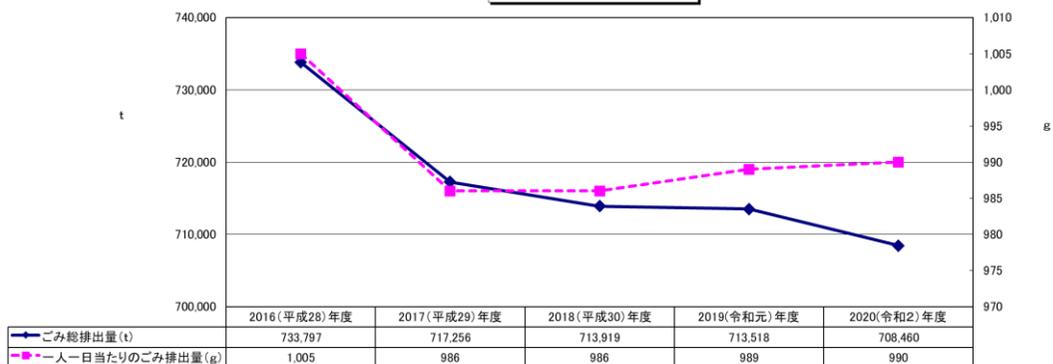
公共用水域の環境基準達成率及び汚水処理人口普及率の経年変化



騒音環境基準達成状況の経年変化



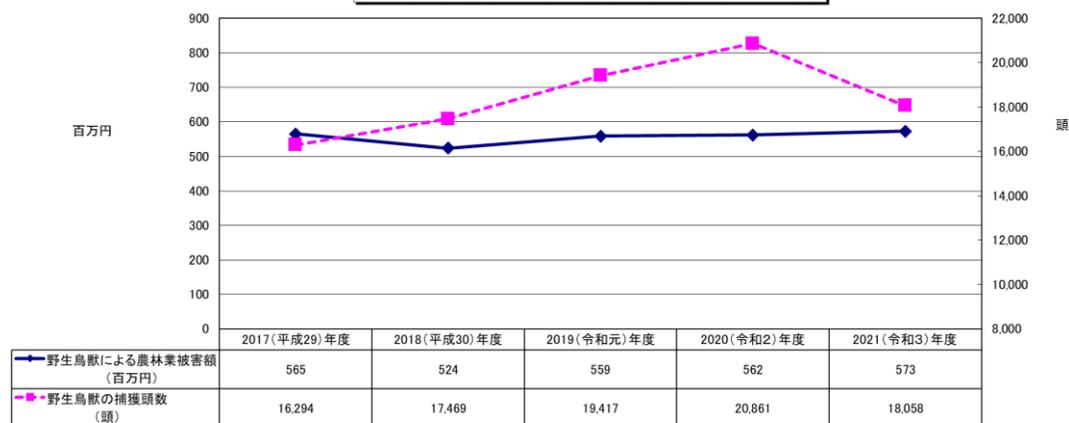
ごみ総排出量等の経年変化



間伐等森林整備面積の経年変化



野生鳥獣による農林業被害額と捕獲頭数(5獣種)の経年変化



小・中学生のためのフォレストリースクール参加人数

